



## 第49回「〈80後〉人材のマネジメント」(1)

野村総研(上海)咨询有限公司

1980年以降に生まれた世代を中国では「80後」と呼んでいる。彼らは79年以降の改革解放による変化の激しい時代に、一人っ子政策の下で生まれ育った。

「80後」は現在、19歳から28歳に達し、多くが職業人として社会に参画するようになっている。今回は「80後」の人々の特徴をとらえ、今回は彼らが企業に与える人材マネジメント上の新たな挑戦と、企業の取るべき対応について考えたい。

## ◆「80後」はいくつかのタイプに分けられる

しばしば「80後」は自己中心的であるとか、責任感が薄いとと言われる。しかし実際は貧富の格差が広がる中で家庭の経済条件によって異なる環境で育ってきたため、彼らの価値観や人生観も一様ではない。

野村総研(NRI)は「80後」を下記のように分類してとらえている。

実は、80年以降に生まれた世代の中で、自己中心的などと言われる「80後」の典型的な特徴を備えているのは一部でしかない。このタイプをNRIは「我世代」と呼んでいる。中流以上の経済的にゆとりのある家庭で育ったため、このような性質を持つようになった。

これに対して「我世代」以外の80後世代は、家庭にそれほどゆとりがあるわけではないので、実際には決して甘やかされて育ったわけではない。また「我世代」の中から、さらに1つのタイプを区分してとらえることができる(「NEO-G」)。彼らは自己成長にどん欲であり、その目的のためには努力を惜しまないため、必ずしも我慢や苦勞に弱いというわけではない。

## - 「80後」世代の3つのタイプ -

「我世代」を除く80後	家庭の経済条件がそれほど良くないため、分別がついて相手の立場に立って考えてくれる人が多い。彼らには、自己中心など、一般に言われている80後の欠点が少ない
我世代 (「80後」の典型的なイメージに合致)	経済条件が中等以上の都市部の家庭で育つ。一般的に言われる典型的な80後。親に甘やかされた一人っ子がほとんどなので、自己中心的・自由主義・我慢や苦勞に弱いなどの特徴がある。
NEO-G	一般的な「我世代」の特徴がある一方、自己成長への強い欲望をもつ。自分が成長できるなら我慢や苦勞をしても良いと考えている。正規大学の卒業者が多い。

## ◆職場における「我世代」の特徴

中国の求人サイト大手「51Job」は職場における「80後」(上記分類の中の「我世代」に相当するとみられる)と「70後」を比較するため大都市在住就職者を対象に意識調査を行った。この結果から、仕事に対する「我世代」の特徴が分かる。

調査項目	「我世代」	70年代生まれ
給与の使途の多い順	娯楽>学習教育>ショッピング	家庭支出>住宅ローン>貯蓄・親孝行・保険投資・学習教育
会社をくびになったときの気持ち	ロングバケーションのチャンス! (63%)	危機感・焦燥感(57%)
同僚との付き合い方	お前の道を進め、人には勝手なことを言わせておけ(60%)	周りの人の見方が気になる(48%)
仕事に対する考え方	自分の興味のある仕事をやりたい (46%)	地に足をつけて地道に働く(36%)

(出所) 51Jobインターネット調査結果に基づきNRI作成

(次ページに続く)